



2021年11月12日

各位

会社名 株式会社マツオカコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 松岡 典之
(コード番号：3611 東証市場第一部)
問合せ先 管理本部 広報IR室 深川 道宏
(TEL. 084-973-5201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月12日の2022年3月期第1四半期決算発表時に開示した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	54,000	1,500	1,400	1,000	100.53
今回修正予想 (B)	50,000	200	500	300	30.63
増減額 (B-A)	△4,000	△1,300	△900	△700	—
増減率 (%)	△7.4	△86.7	△64.3	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	53,928	4,563	4,073	2,764	277.91

2. 修正の理由

売上高は、アパレル製品の需要回復の兆しが見られるようになったものの、アイテムによって回復の度合いにばらつきが見られ、新型コロナウイルス感染拡大に伴う非常事態宣言の発出等もあり、全体としては受注の回復までにはいたらず、前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益については、売上高が想定を下回ったことによる売上総利益の減少の他、回復が遅れているアイテムの受注不足に起因した一部工場の採算悪化により、前回発表予想を下回る見込みであります。

経常利益は、為替レートが想定為替レート(1USドル=104円)より円安に推移していることから為替差益の増加等が見込まれるものの、営業利益の減少により前回発表予想を下回る見込みであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益についても、非支配株主に帰属する当期純損失の損失幅が拡大して減益幅が縮小するものの、経常利益の減少により前回発表予想を下回る見込みであります。

以上